

事業計画書(実績書)

令和7年3月19日

団体名 京 都 産 業 大 学

事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)	【寺崎友芳ゼミ】 綾部市の関係人口の増加や綾部産食材の拡販、地域住民の郷土愛の向上などを目標に、地域住民や地域団体等との交流を図り、綾部市の農産物・食品製造業・食文化・観光の活性化に繋がる取り組みを実施する。 【松本和明ゼミ】 綾部市域の調査並びに地域住民や団体等との交流を通じて認識ないし把握した地域課題について、大学生を主体とし、地域の諸資源を活用した新たな結びつけによる、課題の明確化および可視化を行うとともに、解決策を提示することを目的とする。 【滋野浩毅ゼミ】 綾部市における人口減少、過疎高齢化、若者の流出、DXへの対応といった諸問題に対し、地域側からの申し出、学生のアイデアをベースとした事業である。 地域住民や行政、事業者等と大学、学生が協働でこれらの課題に取り組むことを通じて、新たなアイデアを創発することで、学生が地域にかかわる当事者としての意識を持ったり（関係人口の創出）、地域が今後の事業活動や政策立案等に向けた機運を醸成することを目的とする。
事業の名称	京都産業大学むすびわざプロジェクトinあやべ
事業費 (市補助金)	1,590,583円 (554,542円)
補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)	当該事業の実施に係る移動経費、消耗品費、印刷経費など
事業実施期日	令和6年6月1日～令和7年3月19日
事業実施場所	綾部市(志賀郷地区、中上林地区、奥上林地区、綾部地区)、本学他

補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	【寺崎友芳ゼミ】 ・延べ70人が綾部市を往訪し、綾部市の関係人口の増加に寄与した。 ・地域食堂には地域住民20人が参加し、「若者・よそ者」視点による食材の魅力の再発見を通じた地域住民の郷土愛の向上や食材の拡販に寄与した。 ・PR動画は2712回視聴され、「若者・よそ者」視点による取り組みによって綾部市の観光資源の魅力の再発見、交流人口の拡大に寄与した。 ・2月の事業報告会で活動成果を報告したことで、地域課題に対する参加学生の課題解決力、提案力が向上した。 【松本和明ゼミ】 綾部市役所・図書館およびグンゼや日東精工へのヒアリング・調査をおこない、地域産業の現状と課題、歴史・文化の継承状況、各振興策の現況と今後の方向性について学ぶことができた。これらからの知見とともに文献・資料等の講読・分析をふまえて、地域資源の利活用を基軸とする活性化プランの作成および情報発信の改善や新たな取り組みを提言することができた。地域課題に対する参加学生の課題解決力、提案力が向上した。 【滋野浩毅ゼミ】 ・学生が複数回地域に赴くことで、地域住民との交流、学生の地域への関心へとつながり、地域の「関係人口」に学生が成っていることがうかがえた。 ・「綾部こども探偵」、「ウオーキングサッカー大会」、「ダンスで繋がるクリスマスワークショップ」を通じて、大学生と地域の子どもたちとの交流の機会を増やすことができた。またこうした事業を通じて、子どもたちの郷土愛の醸成、学生の地域理解へとつながった。
---	---

事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	【寺崎友芳ゼミ】 学生主体で地域食堂のイベントを開催し、小畑味噌やKOKUの米粉など京都府綾部市の食材を使用した豚汁、焼きおにぎり、クレープを地域の子供とともに調理し、住民に提供した。参加者には他地域と比べた食材の特徴を知ってもらうことなどで食育や郷土愛の醸成を推進した。イベントの様子を動画に編集してYouTubeなどに投稿することで地域外にPRし、その効果や課題について分析した。 また、学生自らが京都府綾部市の観光スポットや地域文化を取材、体験し、若者・よそ者視点による魅力を発見し、その魅力を動画に編集してInstagram、TikTok、YouTubeに投稿することで地域外にPRし、その効果や課題について分析した。 【松本和明ゼミ】 綾部市役所（企画政策課）および図書館、並びにグンゼ株式会社綾部本社・グンゼ博物苑および日東精工株式会社へのヒアリング・調査をおこない、地域産業の発展過程、現状と課題、歴史・文化の継承状況、諸振興策の現況と今後の取り組みについて学んだ。これらからの知見とともに、文献・資料等の分析をふまえて、グンゼ創設者の波多野鶴吉や日東精工創設者の四方重吉らをはじめとする地域の先人たちの事績を含む地域資源の利活用をベースとする活性化計画の作成並びに情報発信の改善や新たな方向性を提起した。 【滋野浩毅ゼミ】 (1) 地域の「関係人口」としての学生創出事業 「小さな谷の小さな暮らし」（志賀郷ゴキゲン化計画主催）に年間を通じて参画し、そこでの経験、調査から、この取り組みのコンセプトである「暮らし仕事」の意味を知ったり、現在の取り組みにおける課題の抽出を行ったりした。 (2) 地域子どもたちとの交流・共育を通じた郷土愛醸成事業 今年度で3回目となる「綾部こども探偵」を実施した。これは、綾部市内の小学生が「探偵」として、地域の魅力を発見し、レポートにまとめる取り組みを、学生が「助手」としてサポートするものである。 (3) 学生による地域の課題解決プロジェクト 学生たちのアイデアをもとに、「過疎地域におけるICTによる地域課題解決の提案」、「ドライブマップの作成」、「米粉レシピ集の作成」、「ウォーキングサッカー大会」、「ダンスワークショップ」を実施した。
--	--

様式第4号(第3条、第7条及び第8条関係)

収支予算書(計算書)

令和7年3月19日

団体名 京 都 産 業 大 学

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	綾部市補助金	554,542	554,542	
	京都府補助金	1,035,000	1,035,000	
	大学負担金	1,041	1,041	
	合 計	1,590,583	1,590,583	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	移動経費	1,286,570	1,286,570	交通費・宿泊費等 ※内356,380円 綾部市補助金充当
	使用料および賃借料	32,800	32,800	会場使用料、レンタサイクル料 ※内9,300円 綾部市補助金充当
	諸経費	271,213	271,213	成果物冊子等印刷代、食材費、 消耗品費、書籍代、体験料、学 生保険料等 ※内188,862円 綾部市補助金充当
	その他	0	0	
	人件費	0	0	
	合 計	1,590,583	1,590,583	
差	引	0	0	